

ルーター・ヴァナガイテ
エフライム・ズロフー著

同

リトアニアのホロコースト
伏せられた歴史

胞

重松尚一訳



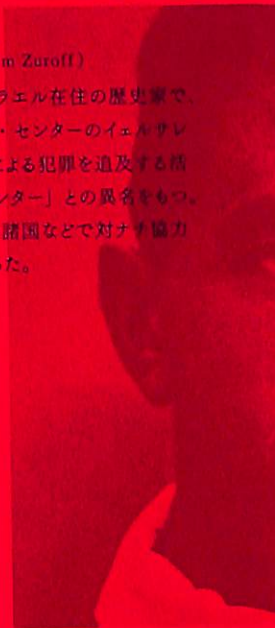
【著者】

ルータ・ヴァナガイテ (Rūta Vanagaitė)

1955年、リトアニア生まれ。舞台芸術学者で作家。モスクワで舞台芸術学を専攻したのち、1977年からリトアニアで文芸誌の編集に携わる。1991年から98年まで演劇祭 LIFE の実行委員長。2011年から15年までヴィルニウス市議会議員。2014年から執筆業に従事。ホロコーストに関連する著作としては、本書のほか「それはどのようにして起きたのか」(2020年)がある。

エフライム・ズロフ (Efraim Zuroff)

1948年、米国生まれ。イスラエル在住の歴史家で、サイモン・ヴィーゼンタール・センターのイェルサレム事務所長を務める。ナチによる犯罪を追及する活動を続けており、「ナチ・ハンター」との異名をもつ。ソ連が解体したのち、バルト諸国などで対ナチ協力者の訴追を求める活動を行った。



(Vanagaitė)

芸術学者で作家。1977年から、1991年から。2011年から。2014年から執筆する著作としては、
「して起きたのか」

(off)

在住の歴史家で、
ターのイェルサレ
罪を道及する居
との異名をもつ。
などで対ナサ協力

イツハク・アノリク

一九〇三年シャウレイ生まれ
一九四三年、カウナス第九要塞にて殺される



リトアニアのユダヤ人で最も才能あるスポーツ選手の一人。自転車選手。一九二五年および二六年、一〇キロメートルのロードレースでリトアニア王者となる。二四年のパリ五輪と二八年のアムステルダム五輪にリトアニア代表として参加。

リトアニアの雑誌『スポルタス』は、パリ五輪での競技の様子を次のように伝えている。

我らが自転車選手J・アノリクもまた、七度のパンクにより完走できなかった。彼はスタート時、懸命にタイヤに空気を入れ、イギリスやフランスの選手を驚かせた。実のところ、彼の身体の調子は良く覇気も強かったのだが、コース途中にあった石のせいですぐにパンクしてしまった。コース沿いには、替えのチューブを貸してくれる人どころか売ってくれる人すらいなかったため、走行を続けることはできなかった。他国の選手は面倒を見てもらえていて、各チェックポイントでは食料や替えのチューブなど必要なものをすべて手に入れることができた。数台の車が選手を追っていて、必要なものをチェックポイントで用意していたからである。

Mūsų kiai

by Ruta Vanagaitė and Efraim Zuroff

© Ruta Vanagaitė, 2016

© Leidykla „Alma littera“, 2016

Japanese translation published by arrangement with Ruta Vanagaitė and Efraim Zuroff
c/o Peter W. Bernstein Corp. through The English Agency (Japan) Ltd.

Vanagaité)

芸術学者で作家。
1977年から
1991年から
2011年から
2014年から執
する著作として、
して起きたのか]

roff)

在住の歴史家で、
ターのイェルサレ
罪を逮及する精
との異名をもつ
などで対ナチ協力

バリーヌ・ノルヴァイシヤ

一九〇八年生まれ



中尉。一九四二年一月より特別部隊隊長。四一年から四三年までリトアニア各地で殺害作戦の指揮にあたった。特別部隊はポナリ（リトアニア語でパネレイ。一九三九年までポーランド領であったことから、ホロコーストに関する研究書などではポーランド語の地名であるポナリがよく用いられる。本書もこれに倣い、「ポナリ」とする）で約七万人の人びとを殺害。四三年（正しくは四二年二月一日）、ノルヴァイシヤは自警大隊に転籍した（そこで第一大隊の隊長を務める）。その後の足跡は不明。四四年に米国もしくは英国に移住したと考えられるが、「四五年二月のドイツ・ドレスデンでの爆撃により死亡したとの情報もある」。

私たち、神の恩寵の下にあるリトアニア大公アレクサンデルことヴィータウタスは、「…」私たちの国に住むすべてのユダヤ人に権利と自由を与えた。「…」夜中、いずれかのユダヤ人が必要に迫られ声をあげてもキリスト教徒がこの者を助けに向かわなかったときには、ユダヤ人を含む隣人全員が三〇シリングを支払わなければならない。

——一三八八年、大公ヴィータウタスが prest のユダヤ人共同体に与えた特権³

凡例

- 〔一〕 原著者による挿入
- 〔二〕 訳者による挿入および註

略語一覧

- I H R A 国際ホロコースト記憶同盟
- K G B 国家保安委員会
- L A F リトアニア人行動主義戦線
- L C V A リトアニア国立中央文書館
- L L V リトアニア臨時政府
- L Y A リトアニア特別文書館
- N A T O 北大西洋条約機構
- N K V D 内務人民委員部
- O K W 国防軍最高司令部
- P P T 補助警察大隊
- S D 親衛隊保安部
- S S 親衛隊
- T D A 民族労働防衛大隊
- V L I K リトアニア解放最高委員会

同胞 目次

Vanagaitė)
芸術学者で作家。
1977年から
1991年から
1991年から
2011年から
2014年から執
する著作としては、
「　　して起きたのか」

roff)
在住の歴史家で、
スターのイェルサレ
ムを追及する結
核との異名をもつ。
などで対ナチ協力

Vanagaité)

芸術学者で作家。
1977年から
1991年から
2011年から
2014年から執
する著作としては、
して起きたのか]

roff)

在住の歴史家で、
ターのイェルサレ
見罪を追及する積
との異名をもつ。
などで対ナザ協力

第1部 闇への旅

第1章 「またユダヤ人の話？」 15

すべての始まり 15

私の親戚は犠牲者だったはず 21

「ユダヤ人になる」 26

ユダヤ人とは 32

敵との対面 42

私たちは自分たちの歴史に責任があるのか 49

第2章 私たちの同胞——目撃した子どもたち 53

ライモナス・ノレイカ 53

ユリユス・シムルクシュティース 56

アンタナス・クミエリヤウスカス 58

マルツエリユス・マルティナイティス 61

第3章 私たちの同胞——政治家たち 64

リトアニア人行動主義戦線 68

リトアニア臨時政府 80

評議会顧問 94

第4章 私たちの同胞——ユダヤ殺し 104

民族労働防衛大隊 104

歯科技工士 108

飛翔部隊の殺人者たち 118

特別部隊の兵士たち 122

ボナリ——証言者たちの人物像 123

生徒の人物像 131

郵便配達員の人物像 134

Vanagaité)
芸術学専攻で作家。
1977年から
1991年から
1991年から
2011年から
2014年から執
する著作としては、
「ルンペン」で起きたのか」

roff)
在住の歴史家で、
スターのイェルサレ
ムを追及する「ルンペン」
との異名をもつ。
などで対ナザレ協力

三〇年後——殺人者の夢 141

殺された人たちの人物像 147

地獄で燃え尽きず——焼却した人たちの証言 156

特別部隊に入隊した人たちの運命 160

人を殺しに派兵された兵士たち 163

人の顔をした殺人者たち 181

第5章 得をしたリトアニア 190

第6章 私たちの同胞——ユダヤ人を救った人たち 199

第7章 現在の視点から——歴史家へのインタビュー 204

第1部あとがき 216

第2部 敵との旅

エフライム・ズロフ——私の人生におけるリトアニア 222

「ミッションは可能か——出発前の対話」 230

旅 243

リンクメニース／リンググミヤン 243

シュヴェンチヨニース／スヴェンツヤン 255

カヴァルスカス／コヴァルスク 269

ウクメルゲ／ヴィルコムル 282

シエドウヴァ／シャデヴエ 296

テルシエイ／テルズ 311

プルンゲ／プルンギヤン 320

プラトレイ／プロテル 327

タウラゲ／タヴリグ 336

芸術学者で作家。1977年から、1991年から長。2011年から。2014年から執筆する著作としては、『**起きたのか**』

在住の歴史家で、ターのイェルケル、罪を追及する為との異名をもつ、などで対ナチ協力

ブトリモニス／ブトリアンツ 342

パネヴェジース／ポネヴェジエ 351

カウナス／コヴァネ 366

ヴァイルニユス／ヴァイルネ 374

ベラルーシ(バルタルシヤ／ベロルス) 382

敵との別れ——空港へ 391

エピローグ——神はどこにいる 400

トマス・シエルナスとの対話 400

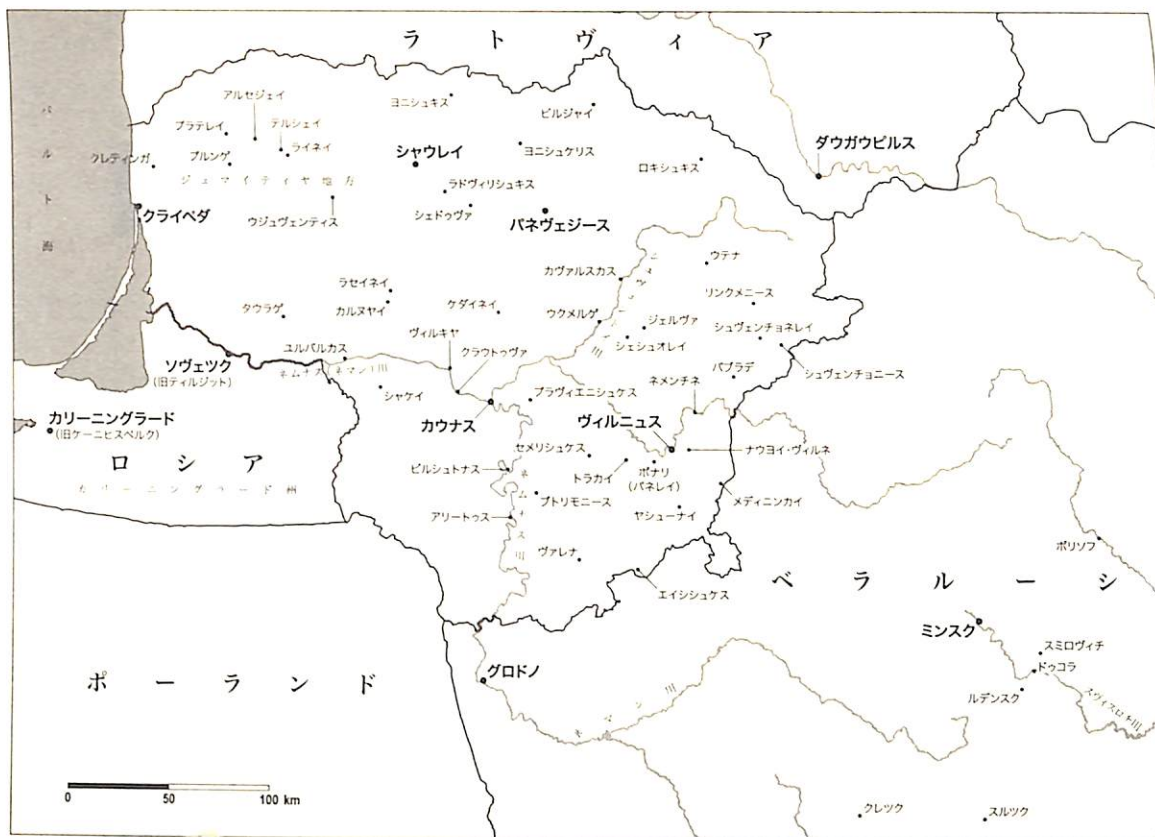
リチャルダス・ドヴェイカ司祭との対話 407

リトアニアとホロコースト エフライム・ズロム 419

記者解説 重松尚 438

出典 453

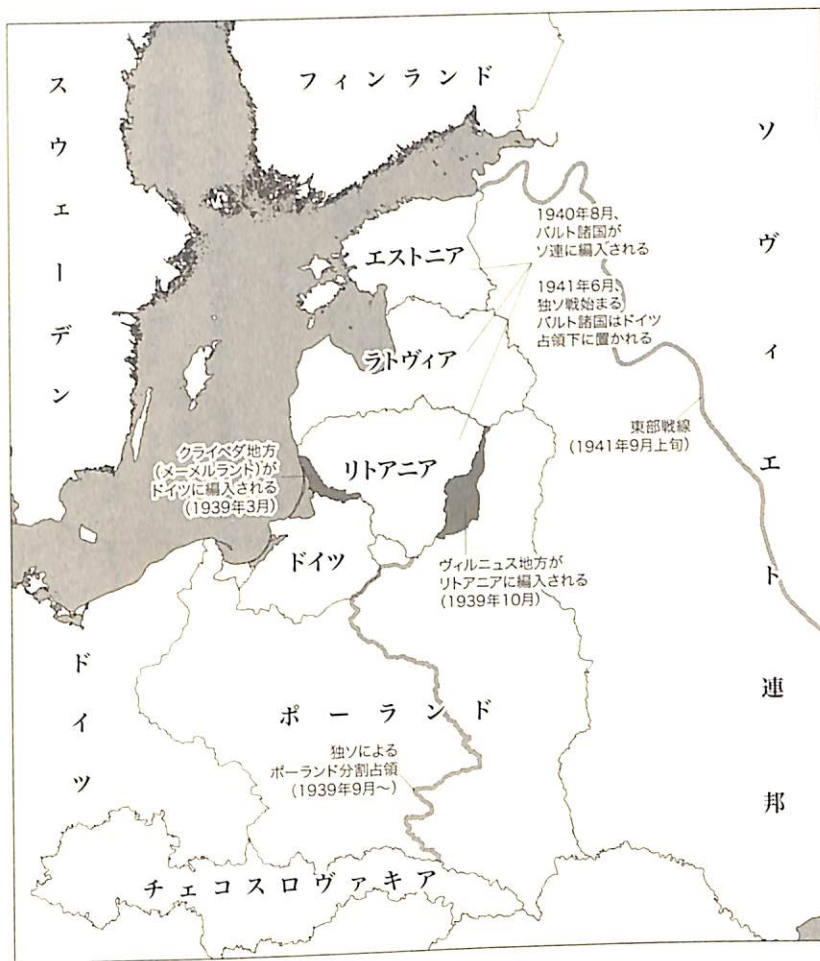
索引 470



現在のリトアニアとその周辺

第1部

闇への旅



東欧地域とリトアニア (1939～41年)。なお、国境線は、1939年1月1日時点のもの

Vanagaitė)

芸術学者で作家。1977年から、1991年から。2011年から。2014年から執筆する著作としては、[して起きたのか]

roff)

在住の歴史家で、ターのイェルサレムと罪を追究する情熱と、その異名をもつ。などで対ナチ協力

同胞

リトアニアのホロコースト 伏せられた歴史

著 者 ルータ・ヴァナガイテ
エフライム・ズロフ

訳 者 重松 尚

2022年3月31日 初版第1刷発行

発行人 掛斐 憲
発行 東洋書店新社
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-22-7 道玄坂ピアビル4階
電話 03-6416-0170 FAX 03-3461-7141

発 売 垣内出版株式会社
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-16-17
電話 03-3428-7623 FAX 03-3428-7625

装 丁 伊藤拓希 (cyzo inc.)
印刷・製本 中央精版印刷株式会社

落丁・乱丁本の際はお取り替えいたします。
定価はカバーに表示してあります。

Printed in Japan ©Hisashi Shigematsu 2022.
ISBN978-4-7734-2047-0

[著者]

ルータ・ヴァナガイテ (Rūta Vanagaite)

1955年、リトアニア生まれ。舞台芸術学者で作家。モスクワで舞台芸術学を専攻したのち、1977年からリトアニアで文芸誌の編集に携わる。1991年から98年まで演劇祭 LIFE の実行委員長。2011年から15年までヴィルニユス市議会議員。2014年から執筆業に従事。ホロコーストに関連する著作としては、本書のほかに「それはどのようにして起きたのか」(共著、2020年)がある。

エフライム・ズロフ (Efraim Zuroff)

1948年、米国生まれ。イスラエル在住の歴史家で、サイモン・ウィーゼンタール・センターのイェルサレム事務所長を務める。ナチによる犯罪を追及する活動を続けており、「ナチ・ハンター」との異名をもつ。ソ連が解体したのち、バルト諸国などで対ナチ協力者の訴追を求める活動を行った。

[訳者]

重松尚 (しげまつ・ひさし)

1985年生まれ、滋賀県出身。東京大学大学院総合文化研究科助教。著書として「せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題——ナチズムと社会主義の過去をめぐる葛藤」(分担執筆、橋本伸也編著、ミネルヴァ書房、2017年)など、訳書として「バルト三国の歴史——エストニア・ラトヴィア・リトアニア 石器時代から現代まで」(共訳、アンドレス・カセカンブ著、明石書店、2014年)、「リトアニアの歴史」(共訳、アルフォンサス・エイディンタスほか著、明石書店、2018年)などがある。

人名索引

あ行

アイヒマン、アドルフ 210
アタムカス、ソロモナス 205
アダムクス、ヴァルダス 56, 74, 93, 204, 213
アノリク、イツハウ 1
アンブラゼヴィチュス=ブラザイティス、ユオザス
81, 84, 87, 91-93, 211
イーガー、カール 106, 107, 119, 288,
343, 354, 355
イグナタヴィチュス、ゼノナス 171, 179
イゼリス、アウグスティナス 83, 88
インブレヴィチュス、アンタナス 163-165,
173, 174, 178, 179, 181, 213, 233-
235, 292, 382, 384, 386-388, 390,
392, 396, 412
ヴァグノリユス、ゲディミナス 226, 227
ヴァレンベリ、ラオル 209
ヴィーゼンタール、サイモン 228
ヴィータウタス(リトアニア大公) 3, 56, 72, 75,
76, 350
ヴィトカウスカス、ヴァンツァス 65
ヴェンツロヴァ、トマス 18, 42, 449
ヴォルコヴィスキ、アレクサンデル(タミル) 26, 27
エイディンタス、アルフォンサス 79, 82, 92, 216,
335, 339
オベレヴィチュス、ヨナス 106

か行

ガオン(エリヤフ・ベン・シロモ・ザルマン) 19,
203
カチェルギンスキ、シュメルケ 28
カツ、ドヴィド 43, 48, 52, 436
カディツシュ、ジョージ 20
カノヴィチ、グレゴリー 19
ガルキン、アレクセイ 67, 313
ギムジャウスカス、カジース 238, 239, 394,

431, 434

クーベ、ヴィルヘルム 165
ククリヤンスキ、シュムエル 348
グスタイニス、ヴァレンティナス 207
クビリューナス、ペトラス 95, 164, 173, 208
クミエリヤウスカス、アンタナス 58, 344-346
クリクシュタボニス、ユオザス 212, 291, 292,
384, 385
グレヴィチュス、シモナス 31
グロス、ヤン 279, 334, 439
ケーストゥティス(リトアニア大公) 72
ゲディミナス(リトアニア大公) 71, 72, 93,
100
ケンピンスキ、アントニ 289
ゴールドバーグ、ヤコブ 89
コルサカス、ヴラダス 160, 161

さ行

ザグレツカス、リマンタス 183, 184, 216,
333-335, 362
サコヴィチ、カジミエシュ 126, 129, 130, 379,
381
シェベティース、ネリユス 51, 203
シェルナス、トマス 400
ジザス、リマンタス 335
シュヴァルツマン、ダニール 163, 314
シュキルバ、カジース 68-70, 74, 77, 79-81,
86, 87, 93, 94
シュスタウスカス、ヴィータウタス 405
シュトロマス、アレクサンドラス 50
シュマウスカス、モティエユス 83
シュムルクシュティース、ユリユス 56
ジンゲリス、エマヌエリス 20
スヴァリンスカス、アルフォンサス 292, 293
スカルジンスカス、ユルギス 109
杉原千畝 381, 405